

2026 年 6 月 12 日

マツダ石油株式会社

ラオス人民民主共和国ソネサイ・シーパンドン首相閣下を囲む
カクテルレセプションに参加
～「ラオス・ベトナム間パイプライン計画」を
首相へ直接プレゼンテーション、両国の経済連携強化へ～

マツダ石油株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役社長：松田 孝志、以下「当社」）は、2026 年 6 月 11 日（木）、東京の帝国ホテルにて開催されたラオス人民民主共和国（以下「ラオス」）のソネサイ・シーパンドン首相閣下をお迎えする「カクテルレセプション」に、当社代表の松田をはじめとする幹部 4 名で出席いたしました。

本イベントは、ラオス投資促進管理委員会、駐日ラオス大使館、および日本貿易振興機構（JETRO）の共催によるもので、選び抜かれた日本のビジネス代表者 30 名限定の特別な国際交流の場として開催されました。



当日ご登壇された、ラオス人民民主共和国 ソネサイ・シーパンドン首相閣下と参加者

■ 首相への直接プレゼンテーション：「ラオス・ベトナム間パイプライン計画」

イベント内では、当社の重要プロジェクトである「ベトナムからラオスへのパイプライン計画」について、代表取締役社長の松田孝志より、ソネサイ・シーパンドン首相閣下およびラオス政府高官の皆様へ向けた直接のプレゼンテーションを行う機会をいただきました。

持ち時間の中で、グリーンエネルギーやロジスティクス、周辺国とのシームレスなエネルギーインフラ構築を見据えた当社の投資関心とビジョンを簡潔に説明し、ラオス政府側からも非常に高い関心と期待をお寄せいただきました。



壇上でラオス政府高官らに向けプレゼンテーションを行う マズダ石油株式会社代表取締役社長の松田孝志

■ 首相へ「1292 年の歴史的陶磁器」を記念品として贈呈

また、当日のハイライトとして、訪日されたソネサイ・シーパンドン首相閣下へ、当社からの特別な記念品（歴史的記念皿）を贈呈いたしました。

この記念品は、2016 年 10 月に松田社長自らがインドネシア沖ナツナ海の海底に潜り、沈没船から引き揚げた「中国・宋代の大皿」です。1292 年に出航したマルコ・ポーロの艦隊の一部であった可能性が高いとされる歴史的ロマンが詰まった逸品であり、ラオスと日本のこれからの強固な未来への架け橋となるよう、最高の敬意と親愛の情を込めて手渡されました。



ソネサイ・シーパンドン首相閣下（左）と
握手を交わす当社代表取締役社長の松田孝志（右）



ソネサイ・シーパンドン首相閣下（左）に
大皿を説明する、松田孝志（中）、石濱哲信（右）

■ 今後の展望について

レセプションの場では、首相閣下をはじめ、前回の訪問時より面識のあるアンパイ駐日大使らとも親しく意見を交わし、終始和やかながらも熱のこもった対話が行われました。



ソネサイ・シーパンドン首相閣下（中央）を囲む、

当社代表取締役社長の松田孝志（左）と石濱哲信取締役

当社は今回の貴重な機会を契機として、駐日ラオス大使館およびラオス政府との連携をさらに深め、同国におけるパイプラインプロジェクトの早期実現と、ASEAN 地域における持続可能な経済発展への貢献を目指し、一丸となって事業を邁進させてまいります。

*****本件に関するお問い合わせ先*****

マツダ石油株式会社（担当：市川）

TEL：03-6263-8808

Email：info@mazda-oil.jp

URL：http://www.Mazda-oil.jp